

## グローバル PBL 参加報告会を開催しました

平成 30 年 10 月 26 日（金）、グローバル PBL 参加報告会を開催しました。去る 8 月 5 日から 17 日にかけて、工学部各学科から 6 名の学生が本学協定校であるタイの KMITL で実施したグローバル PBL（課題解決型学習）に参加し、参加した学生及び引率教員（倪教授、江口教授と梶田助教）により報告会が行われ、会場となった E 棟 3 階 R 1 教室には、工学部の学生および教職員が集まりました。

まず倪工学部長より開会の挨拶があり、本プログラムは本学協定校であるタイの KMITL との合同プログラムとして企画・実施された「Smart Farming System for Mushroom through multicultural working environment」という PBL であり、本学から 6 名、KMITL 工学部から 9 名、中国の同濟大学から 16 名、合計 31 名の学生が参加し、学生たちは異なる大学の学生同士でグループが編成され、チームで課題を解決する内容となっていることが紹介されました。



次に参加した学生 6 名がプログラム内容や各自が苦労したこと身についたことから現地での生活やエクササイズについて発表を行いました。今回の PBL では「IT を応用させた農業システムを開発してたくさんマッシュルームを育てよう」という課題が与えられ、より多くのマッシュルームを育てたチームが優勝という内容であり、各大学からの学生 5 ～6 名の混成チームで、栽培環境づくりから栽培装置の製作のための回路、プログラミング設計、収穫、試食といったスケジュールで取り組み、最後にプレゼンテーションを行いました。参加した学生からは、「英語だけでコミュニケーションを取り、協力して同じ課題に取り組むという貴重な経験ができた。」「グループで課題に取り組むことで充実感や達成感を味わうことができた」、「課題だけではなく、休日には観光やショッピングも含まれていて楽しめた」などの感想が述べられました。

最後に、江口教授は「英語で苦労した話が多いですが、みなさんが学んでいる工学は世界共通のものであるので、自分の学んでいることに自信を持って、新しいことに挑戦してほしい」と述べられました。

### <gPBL 参加学生>

電子情報工学科 4 年 木下賢也さん（京都高出身）尾家英人さん（育徳館高出身）  
生命環境化学科 4 年 白水まどかさん（福岡西陵高出身）  
知能機械工学科 4 年 原 聡志さん（佐土原高出身）山中将広さん（宗像高出身）  
電気工学科 4 年 國武朋佳さん（八女高出身）

続いて、引率教員の江口教授から、グローバル PBL とは海外の学生や企業と一緒にいる問題解決型のワークショップであり、なぜグローバル PBL が必要なのかについて説明がありました。その中で今後のグローバル社会の中で福工大の学生には在学中に学業だけではなく、グローバルな視点で物事を考え、解決できる付加価値を身に付けて、21 世紀の社会から求められる人材となってほしいとのお話がありました。



KMITL にて gPBL 参加学生たちと

掲示期間 H-30-193  
11 月 08 日～11 月 28 日

この件のお問い合わせは広報課へ